

令和6年度 日向土木管内
流域治水プロジェクト更新(案)

○これまで管内の流域では、平成17年の台風14号などにより甚大な被害が発生しており、さらに今後の気候変動による水災害リスクの増大に備えるため、国・県・市町村・企業など流域のあらゆる関係者が協働し、流域全体で水害を軽減させるためのハード対策やソフト対策を盛り込んだ「流域治水プロジェクト」に基づき、**流域治水を推進**していく。

○**耳川水系など10水系**において、流域治水を推進していくことで、災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる災害に強い地域づくりの実現に取り組んでいく。

主要な出水被害

平成5年8月	台風第7号
平成9年9月	台風第19号
平成16年8月・10月	台風第16号・台風第23号
平成17年9月	台風第14号
平成19年7月	台風第4号
平成24年10月	台風第21号
平成28年9月	台風第16号
令和4年9月	台風第14号

H9.9月 台風第19号



耳川（東郷町小野田）

H16.10月 台風第23号



五十鈴川（門川町川内）

H17.9月 台風第14号



耳川（諸塚村）

H24.10月 台風第21号

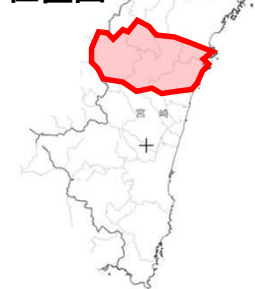


富高川（日向市富高）

対象水系

- | | |
|----------|----------|
| 1)五十鈴川水系 | 6)庄手川水系 |
| 2)塩見川水系 | 7)亀崎川水系 |
| 3)耳川水系 | 8)赤岩川水系 |
| 4)丸バエ川水系 | 9)石並川水系 |
| 5)鳴子川水系 | 10)水無川水系 |

位置図



流域の関係者



- ▶ **日向市**（建設課、都市政策課、下水道課、消防本部警防課、建築住宅課、防災推進課、林業水産課、農業畜産課）
- ▶ **門川町**（建設課、総務課、農林水産課）
- ▶ **美郷町**（建設課、総務課、農林振興課）
- ▶ **諸塚村**（建設環境課、総務政策課、産業戦略課）
- ▶ **椎葉村**（建設課、総務課、農林振興課）
- ▶ **九州森林管理局 宮崎北部森林管理署**
- ▶ **森林研究・整備機構 森林整備センター 宮崎水源林整備事務所**
- ▶ **九州電力**（日向土木保修所、耳川水力整備事務所）
- ▶ **宮崎県**（日向土木事務所、東臼杵農林振興局、河川課、都市計画課、砂防課、危機管理課、建築住宅課、自然環境課、森林経営課、農村計画課、農村整備課）

流域治水プロジェクトの内容

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- | | |
|----------------|--------------|
| ■ 洪水氾濫対策 | ■ 内水氾濫対策 |
| ■ 土砂災害対策 | ■ 高潮、地震・津波対策 |
| ■ 流水の貯留機能の拡大 | |
| ■ 流域の雨水貯留機能の向上 | |

2. 被害対象を減少させるための対策

- 水災害ハザードエリアにおける土地利用
- まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- リスク情報の提供・充実
- 防災・避難体制の強化
- 防災学習・啓発の推進
- 早期復旧・復興への備え

○自然環境が有する多様な機能を活用し、持続可能で魅力ある国土・都市・地域づくりを進めるグリーンインフラを取り入れた流域治水に取り組んでいく。

○流域の風土・歴史・文化を踏まえ、河川の有する多様な機能を十分に発揮し、災害発生の防止、河川の利用、流水の正常な機能の維持及び河川環境の整備・保全により、グリーンインフラの取組を推進する。

流域治水の取組



グリーンインフラの取組



① 治水対策における多自然川づくり

- ・生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出
(瀬、淵、河畔、ワンド等の保全)
- ・河川景観の保全・創出

② 自然環境の保全・復元などの自然再生

- ・湿地等の貴重な自然環境の保全
- ・生物の多様な生息、生育、繁殖環境の保全・創出

③ 魅力ある水辺空間・賑わい空間創出

- ・川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持

④ 自然環境が有する多様な機能活用取組

- ・水辺空間のレジャー等の利用
- ・小中学生や任意団体等による環境学習



五十鈴川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、五十鈴川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、あらゆる関係者の協働により流域における浸水被害の軽減を図る。



五十鈴川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

- 五十鈴川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国・県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
【短期】 五十鈴川本川の優先度の高い箇所から河道掘削の実施や土砂災害対策として砂防堰堤の整備、水害リスク情報の空白地帯の解消に向けた検討・調査を実施する。
【中期】 河川改修の計画的推進や雨水貯留機能向上としてのほ場整備、ハザードマップ等を活用した避難啓発、支援等を実施し、避難体制の強化を図る。
【中長期】 計画的な堆積土砂撤去・支障木伐採や流域の雨水貯留機能の向上として森林整備、治山事業を実施し、流域全体の治水安全度向上を図る。

区分	対策内容	事業主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	宮崎県	河道掘削・樹木伐採・護岸工・築堤 等		
		門川町、美郷町	河道に支障となる草木や堆積土砂の除去 等		
		宮崎県、門川町	内水被害の軽減や拡大防止 河川増水による逆流防止対策 等		
	土砂災害対策	宮崎県	砂防堰堤の整備 等		
	高潮、地震・津波対策	宮崎県	堤防の地震対策 等		
	流域の雨水貯留機能の向上	門川町	森林整備(造林・下刈等)		
		美郷町	ほ場整備・用排水路整備		
		活動組織	直接支払制度による農地保全活動		
		美郷町	再造林、保育(除間伐等)		
		宮崎県	ほ場整備 等		
		活動組織	多面的機能支払制度等の活用		
		宮崎県	森林整備(再造林、下刈り、間伐等)		
		宮崎県	治山事業(治山ダム、山腹工等)		
		森林整備センター	水源林造成事業		
被害対象を減少させるための対策	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実	宮崎県	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	宮崎県	水位計・河川監視カメラ等の増設、安定した水位情報等の提供 等		
		宮崎県、美郷町	河川パトロールによる水災害リスク情報の把握		
		宮崎県	浸水想定区域図の作成・データ提供 等		
		宮崎県	防災重点農業用ため池マップの周知		
	避難体制等の強化	門川町、美郷町	ハザードマップを活用した啓発、防災訓練の支援 等		
		宮崎県	防災の日、防災週間における防災啓発		
		宮崎県	防災士の養成及び出前講座の実施 防災情報の共有		
	経済被害の軽減	門川町、美郷町	水防用資機材の備蓄・管理		
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然かわづくり	宮崎県	生物の多様な生息・生育・繁殖環境の保全・創出 河川景観の保全・創出		
		宮崎県、門川町、美郷町、森林整備センター	湿地等の貴重な自然環境の保全 生物の多様な生息・生育・繁殖環境の保全・創出		
	魅力ある水辺空間・賑わい空間創出	宮崎県	川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持		
	自然環境が有する多様な機能活用 の取組	宮崎県、門川町、美郷町	水辺空間のレジャー等の利用 小中学生や任意団体等による環境学習		
		宮崎県、門川町、美郷町			

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

五十鈴川水系流域治水プロジェクト【取組状況】 令和6年度 ～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■【実施数／対象項目数】：16／16 ■取組率：100%

【宮崎県、門川町】土砂が堆積している箇所において、河道掘削や樹木伐採を実施した。

【宮崎県】土砂や流木の流出による土砂災害を防止するため、砂防堰堤を整備した。



実施後



完成

2. 被害対象を減少させるための対策

■【実施数／対象項目数】：1／1 ■取組率：100%

- 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）に基づき、2巡目の基礎調査を実施中
- 指定箇所は県HPで公表し、ハザードマップへの反映を依頼



県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表 HP：www.sabomap/miyazaki

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■【実施数／対象項目数】：111／118 ■取組率：94%

【宮崎県】宮崎県防災情報共有システムにより様々な情報を、集約・加工・変換して防災情報の共有を図った。



【宮崎県】毎年6月の土砂災害防止月間を中心に、防災意識の啓発を図るため、小中学生を対象とした「土砂災害防止教室」を開催している。



4. グリーンインフラの取組

■【実施数／対象項目数】：10／15 ■取組率：67%

塩見川水系流域治水プロジェクト【位置図】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、塩見川水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、あらゆる関係者の協働により流域における浸水被害の軽減を図る。



塩見川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

- 塩見川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国・県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】浸水の恐れがある箇所での河道掘削や土砂災害対策として砂防堰堤の整備、令和3年6月に公表した日向市立地適正化計画による関係機関や計画の連携強化、水害リスク情報の空白地帯の解消に向けた検討・調査を実施する。
 - 【中期】水位情報の充実やハザードマップ等を活用した避難啓発、支援等を実施し、避難体制の強化を図る。
 - 【中長期】計画的な堆積土砂撤去・支障木伐採や仮設排水ポンプの設置、流域の雨水貯留機能の向上として森林整備、治山事業の実施、立地適正化計画に基づく低災害リスク区域への立地・誘導等により、流域全体の治水安全度向上を図る。

区分	対策内容	事業主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	宮崎県	河道掘削、樹木伐採 等		
		日向市	河道に支障となる草木や堆積土砂等の除去 等		
		宮崎県、日向市	内水被害の軽減や拡大防止		
	土砂災害対策	宮崎県	砂防堰堤の整備 等		
	高潮、地震・津波対策	宮崎県	堤防の地震対策 等		
	流域の雨水貯留機能の向上	地元活動組織	多面的機能支払制度等の活用		
		宮崎県	森林整備(再造林、下刈り、間伐等)		
		日向市	治山事業(治山ダム、山腹工等)		
		森林整備センター	森林整備(造林・間伐等)		
			水源林造成事業		
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	日向市	災害リスク情報提供による低災害リスク区域への立地誘導		
	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実	日向市	防災に関する関係機関や計画の連携強化		
		宮崎県	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	宮崎県	水位計・河川監視カメラ等の増設、安定した情報の提供 等		
		日向市	監視カメラ(冠水)の設置		
		宮崎県、日向市	河川パトロールによる水災害リスク情報の把握		
		宮崎県	浸水想定区域図の作成・データ提供 等		
		宮崎県	防災重点農業用ため池マップの周知		
	あらゆる機会を活用した水災害リスク情報の提供	日向市	立地適正化計画による一定の開発行為・建築等行為の届出義務 等		
	避難体制等の強化	日向市	ハザードマップを活用した啓発、防災訓練の支援 等		
		宮崎県	防災の日、防災週間における防災啓発		
			防災士の養成及び出前講座の実施		
			防災情報の共有		
	経済被害の軽減	日向市	水防用資機材の備蓄・管理		
			仮設排水ポンプの設置		
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然かわづくり	宮崎県	生物の多様な生息・生育・繁殖環境の保全・創出		
			河川景観の保全・創出		
	自然環境の保全・復元などの自然再生	宮崎県、日向市、森林整備センター	湿地等の貴重な自然環境の保全		
			生物の多様な生息・生育・繁殖環境の保全・創出		
	魅力ある水辺空間・賑わい空間創出	宮崎県	川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持		
	自然環境が有する多様な機能活用の取組	宮崎県、日向市	水辺空間のレジャー等の利用		
			小中学生や任意団体等による環境学習		

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

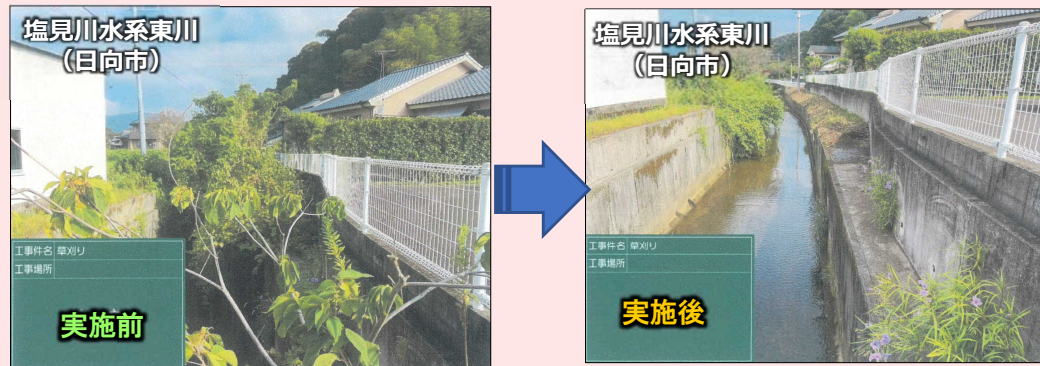
塩見川水系流域治水プロジェクト【取組状況】 令和6年度

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■【実施数／対象項目数】：11／11 ■取組率：100%

【宮崎県、日向市】土砂堆積等による流下阻害で洪水氾濫が生じないよう、樹木伐採や河道掘削を実施した



2. 被害対象を減少させるための対策

■【実施数／対象項目数】：3／3 ■取組率：100%

- 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）に基づき、2巡目の基礎調査を実施中
- 指定箇所は県HPで公表し、ハザードマップへの反映を依頼



県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表 HP：www.sabomap/miyazaki

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■【実施数／対象項目数】：80／81 ■取組率：99%

【宮崎県】毎年6月の土砂災害防止月間を中心に、防災意識の啓発を図るため、小中学生を対象とした「土砂災害防止教室」を開催している。



【日向市】市内の小中学生等を対象に、大雨による土砂災害発生メカニズムや浸水想定区域、日ごろの備えや早期避難について説明を行い、実際にハザードマップで危険箇所の確認及び避難場所等の確認を行うなど、早期避難のための意識啓発を行った。



学校での防災講話の様子 (塩見小学校)

4. グリーンインフラの取組

■【実施数／対象項目数】：9／11 ■取組率：82%

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

位置図



耳川水系

- ・【椎葉村】
- ・急傾斜地崩壊対策事業
- ・法面保護事業
- ・農地保全活動
- ・造林事業、間伐促進事業
- ・治山堰堤事業

- ・ハザードマップ等を活用した危険箇所調査の実施
- ・防災訓練の支援

【九州電力】利水ダムにおける事前放流
の実施・体制構築

- ・森林整備（再造林、下刈り、間伐等）
- ・治山事業（治山ダム、山腹工等）

【洪水氾濫対策】

- ・河道掘削、樹木伐採、築堤、橋梁架替 等
- ・総合土砂管理による問題・課題の解決への取り組み
- ・内水被害の軽減、拡大防止 等

- ・砂防堰堤の整備 等

【流水の貯留機能の拡大】

- ・利水ダムにおける事前放流の実施、体制構築
- ・農業用ため池の改修・事前放流の促進 等

- ・ほ場整備 用排水路整備、農業用ため池の整備 等
- ・多面的機能支払制度等の活用
- ・森林整備（再造林、下刈り、間伐等）
- ・治山事業（治山ダム、山腹工等）
- ・森林の保全・整備
- ・水源林造成事業 等

※別紙「流域治水とグリーンインフラの連携」を参照

諸塚村

造林事業【椎葉村】

上椎葉ダム

山腹工【美郷町】

【諸塚村】

- ・ 森林整備（下刈り、間伐等）
- ・ 治山事業（治山ダム、山腹工事）

- ・ハザードマップの作成公表及び
随時更新
- ・ハザードマップ等を活用した啓発

【宮崎北部森林管理署】 森林の保全・整備

森林整備【間伐後】

【宮崎県】多面的機能支払制度等の活用

ほ場整備【宮崎県】

【宮崎県・関係機関】
・総合土砂管理による
問題・課題の解決への取組み

【日向市】

- ・草木・堆積土砂の除去
- ・森林整備（造林・間伐等）

【日向市】災害危険区域の指定

- ・河川バトロールによる水災害リスク情報の把握
- ・標識（実績浸水深）設置
- ・ハザードマップ等を活用した啓発
- ・防災訓練の支援 等
- ・水防用資機材の備蓄・管理

【日向市】ため池事前放流

【日向市】農業用ため池整備

【宮崎県】 汚場整備

【宮崎県】砂防堰堤

宅地嵩上げ

【宮崎県】河川改修区間

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

耳川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】(1/2)

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

- 耳川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国・県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
 - 【短期】浸水の恐れがある箇所での河道掘削や水防災事業による宅地高上げ、土砂災害対策として砂防堰堤の整備や利水ダムにおける事前放流、水害リスク情報の空白地帯の解消に向けた検討・調査を実施する。
 - 【中期】河川改修に基づく橋梁架替や雨水貯留機能向上としてほ場整備や農業用ため池の整備・改修、水位情報の充実やハザードマップ等を活用した避難啓発、支援等を実施し、避難体制の強化を図る。
 - 【中長期】総合土砂管理による治水安全度の向上や計画的な堆積土砂撤去・支障木伐採、流域の雨水貯留機能の向上として森林整備や治山事業を実施し、流域全体の治水安全度向上を図る。

区分	対策内容	事業主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	宮崎県	河道掘削、樹木伐採、築堤、橋梁架替 等		
		日向市、美郷町	河道に支障となる草木や堆積土砂等の除去 等		
		宮崎県、関係機関	総合土砂管理による問題・課題の解決への取り組み		
		宮崎県、日向市	内水被害の軽減や拡大防止		
	土砂災害対策	宮崎県、椎葉村	砂防堰堤の整備 等		
	流水の貯留機能の拡大	宮崎県、九州電力	利水ダムにおける事前放流の実施、体制構築		
		ため池管理者	管理者による農業ため池の事前放流の促進		
	流域の雨水貯留機能の向上	美郷町	ほ場整備・用排水路整備		
		活動組織	直接支払制度による農地保全活動		
		日向市	農業用ため池の整備、森林整備(造林・間伐等)		
		美郷町	再造林、保育(除間伐等)		
		諸塚村	森林整備(下刈り、間伐等)		
			治山事業(治山ダム、山腹工等)		
		椎葉村	農地保全活動、造林事業、間伐促進事業、治山堰堤事業 等		
		宮崎県	ほ場整備		
		地元活動組織	多面的機能支払制度等の活用		
		宮崎県	森林整備(再造林、下刈り、間伐等)		
			治山事業(治山ダム、山腹工等)		
		宮崎北部森林管理署	森林の保全・整備		
		森林整備センター	水源林造成事業		

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

耳川水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】(2/2)

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

区分	対策内容	事業主体	工程		
			短期	中期	中長期
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	宮崎県	宅地嵩上げ		
		日向市		災害危険区域の指定	
	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害情報の充実	宮崎県		土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化	
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	宮崎県	水位計・河川監視カメラ等の増設、安定した水位情報等の提供 等		
		日向市		標識(実績浸水深)設置 等	
		宮崎県、日向市、美郷町	河川パトロールによる水災害リスク情報の把握		
		宮崎県	浸水想定区域図の作成・データ提供 等		
		宮崎県	防災重点農業用ため池マップの周知		
	避難体制等の強化	日向市、美郷町、諸塚村、椎葉村	ハザードマップを活用した啓発、防災訓練の支援 等		
		宮崎県	防災の日、防災週間における防災啓発		
			防災士の養成及び出前講座の実施		
			防災情報の共有		
	経済被害の軽減	日向市、美郷町	水防用資機材の備蓄・管理		
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然かわづくり	宮崎県	生物の多様な生息・生育・繁殖環境の保全・創出		
			河川景観の保全・創出		
	自然環境の保全・復元などの自然再生	宮崎県、日向市、美郷町、諸塚村、椎葉村、宮崎北部森林管理署、森林整備センター	湿地等の貴重な自然環境の保全		
			生物の多様な生息・生育・繁殖環境の保全・創出		
	魅力ある水辺空間・賑わい空間創出	宮崎県	川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持		
	自然環境が有する多様な機能活用の取組	宮崎県、日向市、美郷町、諸塚村、椎葉村	水辺空間のレジャー等の利用		
			小中学生や任意団体等による環境学習		

耳川水系流域治水プロジェクト【取組状況】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

令和6年度

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■【実施数／対象項目数】：28／28 ■取組率：100%

【宮崎県（東臼杵農林振興局）、日向市、美郷町、諸塚村、椎葉村、宮崎北部森林管理署、森林整備センター】
適切な再造林や保育（下刈り、間伐等）により、表土の流出抑制や保水能力の向上、雨水流下速度の緩和等を図り、水源かん養機能や洪水緩和機能の向上に取り組んだ。



再造林

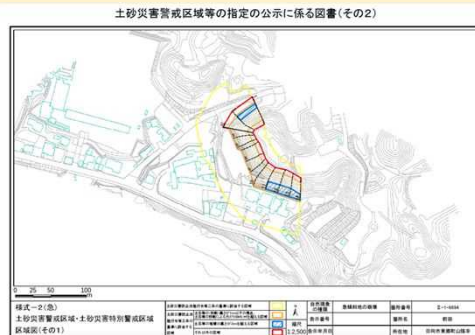


下刈り

2. 被害対象を減少させるための対策

■【実施数／対象項目数】：3／3 ■取組率：100%

- 土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（土砂災害防止法）に基づき、2巡目の基礎調査を実施中
- 指定箇所は県HPで公表し、ハザードマップへの反映を依頼



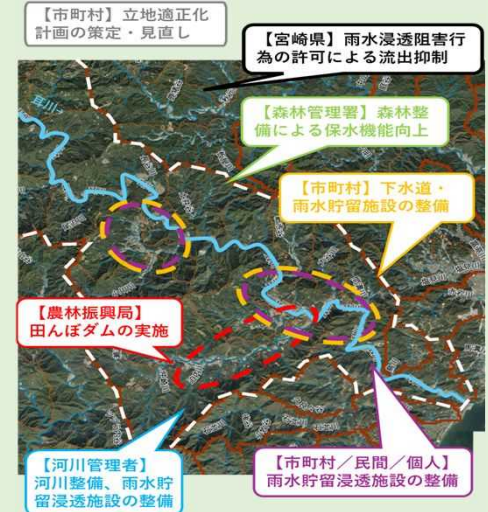
県HPで土砂災害警戒区域等マップを公表 HP：www.sabomap/miyazaki

3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■【実施数／対象項目数】：180／190 ■取組率：95%

【宮崎県】流域治水をより実効性の高い取組とするため、特定都市河川に関する勉強会を開催した。指定要件に関する基礎資料の整理、対象区間の検討に着手した。

参加者：
日向市、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町の関係課長
講師：
国土交通省九州地方整備局
延岡河川国道事務所



【日向市】「日向市流域治水ワーキング会議」を設置し、市の関係部局で横断的に浸水対策を検討し、「浸水対策素案報告書」（19事業）をとりまとめた。令和6年度は、内水被害軽減のための仮設ポンプ設置（小野田地区、余瀬地区、幸脇地区）や市管理河川の堆積土砂除去を実施した

開催実績

名称	開催日	検討内容
第1回	R5. 5. 29	・令和4年台風第14号被害 ・浸水対策検討スケジュール
第2回	R5. 7. 7	・検討の進め方 ・素案等の検討
第3回	R5. 8. 29	・内水対策報告書とりまとめ ・来年度の浸水対策の検討
第4回	R6. 1. 25	・来年度の浸水対策の確認
第5回	R6. 7. 17	・内水対策取組状況の確認

令和6年度の取組状況

- 仮設ポンプ設置状況(R8. 8. 27 小野田地区)
- 河川堆積土砂除去の状況



4. グリーンインフラの取組

■【実施数／対象項目数】：20／25 ■取組率：82%

日向・門川地区その他水系流域治水プロジェクト【位置図】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

○令和元年東日本台風では、戦後最大を超える洪水により甚大な被害が発生したことを踏まえ、庄手川水系など7水系においても、事前防災対策を進める必要があることから、以下の取り組みを実施していくことで、あらゆる関係者の協働により流域における浸水被害の軽減を図る。

位置図

対象7水系

【対象水系】

- ①丸バエ川水系②鳴子川水系
- ③庄手川水系④亀崎川水系
- ⑤赤岩川水系⑥石並川水系
- ⑦水無川水系

■被害対象を減少させるための対策

- 【水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫】
- ・災害リスク情報提供による低災害リスク区域への立地誘導
- 【まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実】
- ・防災に関する関係機関や計画の連携強化
 - ・土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化

■被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

- 【リスク情報の提供・充実】
- ・浸水想定区域図の作成・データ提供 等
 - ・防災重点農業用ため池マップの周知 等
 - ・立地適正化計画による一定の開発行為・建築等行為の届出義務 等
 - ・洪水ハザードマップの見直し・周知 等
 - ・水位情報等の提供 等
- 【防災・避難体制の強化】
- ・要配慮者利用施設における避難確保計画の作成支援 等
 - ・防災士の養成及び出前講座の実施 等
 - ・河川パトロールによる水災害リスク情報の把握 等
 - ・防災情報の共有
- 【防災学習・啓発の推進】
- ・ハザードマップを活用した啓発、防災訓練の支援 等
 - ・教育機関と連携した防災教育の促進 等
 - ・防災の日、防災週間における防災啓発 等
- 【早期復旧・復興への備え】
- ・樋門等の既存施設の操作の検証 等
 - ・水防用資機材の備蓄・管理 等

■グリーンインフラの取組

※別紙「流域治水とグリーンインフラの連携」を参照

水防用資機材の備蓄【門川町】



- 【門川町】
- ・草木・堆積土砂の除去
 - ・森林整備（造林・下刈等）

- 【門川町】
- ・ハザードマップを活用した啓発
 - ・防災訓練の支援
 - ・地域防災計画の作成支援
 - ・戸別受信機無償貸与と世帯の増加
 - ・自主防災組織の資機材充実

門川町

鳴子川水系

- 【宮崎県】
- ・防災ダムの維持保守

丸バエ川水系

- 【宮崎県】 河道掘削、護岸整備

- 【宮崎県】 河道掘削

- 【宮崎県】
- ・森林整備（再造林、下刈り、間伐等）
 - ・治山事業（治山ダム、山腹工等）
 - ・農業用ため池の整備 等
 - ・多面的機能支払制度等の活用

【宮崎県】 農業用ため池の整備

農業用ため池の整備【宮崎県】



長谷地区

日向市

- 【宮崎県】
- ・堤防の高潮、地震・津波対策（調査・検討中）

- 【宮崎県】 庄手川防潮堰

- 【宮崎県】 河道掘削、護岸整備

- 【日向市】
- ・災害リスク情報提供による低災害リスク区域への立地誘導
 - ・防災に関する関係機関や計画の連携強化

- 【日向市】
- ・河川パトロールによる水災害リスク情報の把握
 - ・水防用資機材の備蓄・管理
 - ・ハザードマップ等を活用した啓発
 - ・防災訓練の支援
 - ・地区防災計画の作成支援
 - ・防災情報配信サービス登録者の増加
 - ・立地適正化計画による一定の開発行為・建築等行為の届出義務

- 【宮崎県】
- ・堤防の高潮、地震・津波対策（調査・検討中）

赤岩川水系

- 【日向市】
- ・草木・堆積土砂の除去
 - ・森林整備（造林・間伐等）

水位情報の提供の強化【宮崎県】



- 【宮崎県】
- ・水位情報等の提供
 - ・浸水想定区域図の作成・データ提供
 - ・防災の日、防災週間における防災啓発
 - ・防災士の養成及び出前講座の実施
 - ・防災重点農業用ため池マップの周知

■氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

- 【洪水氾濫対策】
- ・河道掘削、樹木伐採、護岸整備 等
 - ・内水被害の軽減、拡大防止 等
- 【土砂災害対策】
- ・砂防堰堤の整備 等
- 【高潮、地震・津波対策】
- ・堤防の地震対策 等
- 【流域の雨水貯留機能の向上】
- ・農業用ため池の整備 等
 - ・多面的機能支払制度等の活用
 - ・森林整備（再造林、下刈り、間伐等）
 - ・治山事業（治山ダム、山腹工等）
 - ・森林の保全・整備
 - ・水源林造成事業 等

- 【宮崎北部森林管理署】
- ・森林の保全・整備

- 【森林研究・整備機構 森林整備センター】
- ・水源林造成事業

- 【宮崎県】 河道掘削、護岸整備

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

日向・門川地区その他水系流域治水プロジェクト【ロードマップ】

～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

- 庄手川など7河川では、上下流・本支川の流域全体を俯瞰し、国・県・市等の流域のあらゆる関係者が一体となって、以下の手順で「流域治水」を推進する。
【短期】 浸水の恐れがある箇所での河道掘削や土砂災害対策として砂防堰堤の整備、令和3年6月に公表した日向市立地適正化計画による関係機関や計画の連携強化、水害リスク情報の空白地帯の解消に向けた検討・調査を実施する。
【中期】 雨水貯留機能向上として農業用ため池の整備・改修、水位情報の充実やハザードマップ等を活用した避難啓発、支援等を実施し、避難体制の強化を図る。
【中長期】 計画的な堆積土砂撤去・支障木伐採、流域の雨水貯留機能の向上として森林整備や治山事業を実施し、流域全体の治水安全度向上を図る。

区分	対策内容	事業主体	工程		
			短期	中期	中長期
氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策	洪水氾濫対策	宮崎県	河道掘削、樹木伐採、護岸整備		
		日向市、門川町	河道に支障となる草木や堆積土砂等の除去 等		
		宮崎県、日向市、門川町	内水被害の軽減や拡大防止		
	土砂災害対策	宮崎県	砂防堰堤の整備 等		
	高潮、地震・津波対策	宮崎県	堤防の地震対策 等		
	流域の雨水貯留機能の向上	宮崎県	農業用ため池の整備 等		
		地元活動組織	多面的機能支払制度等の活用		
		宮崎県	森林整備(再造林、下刈り、間伐等)		
			治山事業(治山ダム、山腹工等)		
		日向市	森林整備(造林・間伐等)		
		門川町	森林整備(造林・下刈等)		
		宮崎北部森林管理署	森林の保全・整備		
		森林整備センター	水源林造成事業		
	流出抑制対策	宮崎県	防災ダムの維持保守 等		
被害対象を減少させるための対策	水災害ハザードエリアにおける土地利用・住まい方の工夫	日向市	災害リスク情報提供による低災害リスク区域への立地誘導		
	まちづくりでの活用を視野にした土地の水災害リスク情報の充実	日向市	防災に関する関係機関や計画の連携強化		
被害の軽減、早期復旧・復興のための対策	土地の水災害リスク情報の充実	宮崎県	土砂災害警戒区域等の指定による土砂災害リスク情報の充実化		
		宮崎県、日向市	水位計・河川監視カメラ等の増設、安定した水位情報等の提供 等		
		宮崎県	河川パトロールによる水災害リスク情報の把握		
		宮崎県	浸水想定区域図の作成・データ提供 等		
	避難体制等の強化	日向市、門川町	防災重点農業用ため池マップの周知		
			ハザードマップを活用した啓発、防災訓練の支援 等		
		宮崎県	防災の日、防災週間における防災啓発		
			防災士の養成及び出前講座の実施		
	経済被害の軽減	日向市、門川町	防災情報の共有		
			水防用資機材の備蓄・管理		
グリーンインフラの取組	治水対策における多自然かわづくり	宮崎県	生物の多様な生息・生育・繁殖環境の保全・創出		
	自然環境の保全・復元などの自然再生	宮崎県、日向市、門川町、宮崎北部森林管理署、森林整備センター	河川景観の保全・創出		
			湿地等の貴重な自然環境の保全		
	魅力ある水辺空間・賑わい空間創出	宮崎県	生物の多様な生息・生育・繁殖環境の保全・創出		
	自然環境が有する多様な機能活用の取組	宮崎県	川と自然とふれあえる親しみやすい河川空間の維持		
		宮崎県、日向市、門川町	水辺空間のレジャー等利用		
			小中学生や任意団体等による環境学習		

※ 具体的な対策内容については、今後の調査・検討等により変更となる場合がある。

日向・門川地区その他水系流域治水プロジェクト【取組状況】 令和6年度 ～災害から貴重な生命、財産を守り、地域住民が安心して暮らせる防災・減災対策の推進～

1. 氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策

■【実施数／対象項目数】：16／16 ■取組率：100%

【宮崎県】土砂堆積や流木等による流下阻害によって、洪水氾濫が生じないように、樹木伐採や河道掘削を実施した



2. 被害対象を減少させるための対策

■【実施数／対象項目数】：4／4 ■取組率：100%

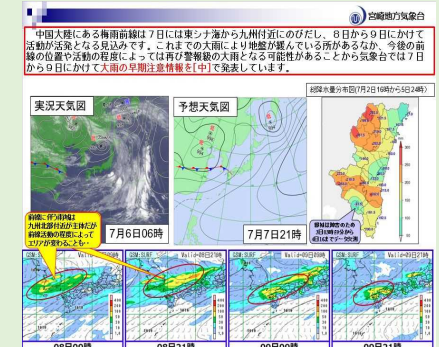
- 門川町と宮崎県危機管理課が連携し、防災意識の向上と知識の取得、地域における防災力の向上を目的に、中高生を対象とした防災士養成講習会を県内で初めて開催をした。
- 当日、日向灘地震も発生し、予想もしえない実地体験もあったが、多くの中高生が防災・減災についての知識を学び、資格を取得した。



3. 被害の軽減、早期復旧・復興のための対策

■【実施数／対象項目数】：117／118 ■取組率：99%

【宮崎地方気象台】防災気象情報の利用普及を図る取組みとして、自治体担当者を対象にオンラインツールを活用した勉強会や定時気象解説などを実施している。



【宮崎県・日向市】県土地改良区が管理する樋門等の維持管理点検や市による普通河川等のパトロールを実施し、事前に災害リスク等の把握を行った。



4. グリーンインフラの取組

■【実施数／対象項目数】：15／17 ■取組率：88%